

楽しく学ぶ日本事情

六. 生活（マナー）編

1. 冠婚葬祭のマナー
2. ビジネスのマナー
3. 交通機関のマナー
4. 観光マナー
5. 日本料理のマナー



1. 冠婚葬祭のマナー

<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/9698/>

冠婚葬祭とは、日本に昔から伝わる4つの大きな儀式を意味します。冠婚葬祭の儀式は、結婚や出産、葬式など人生の節目に関わる事柄から、正月や節句など季節ごとのイベントまでとさまざまです。



冠：

冠婚葬祭の「冠」は、出産や七五三、成人式など人生の節目のお祝いごとを意味します。冠婚葬祭の「冠」の字は昔、日本で成人のお祝いに冠を被ったことが由来です。現在でも七五三や成人式では、日本の伝統的な衣装である着物を着てお祝いします。ほかに冠婚葬祭の「冠」に含まれる儀式は、長寿のお祝いや栄誉ある賞の受賞などです。



婚：

冠婚葬祭の「婚」は、結婚のお祝いを意味します。「婚」が指す内容は、結婚式だけでなく婚礼にまつわる儀式全体です。そのため、冠婚葬祭の「婚」の儀式として、お見合いや婚約、挙式、披露宴などが行われてきました。人生の中でも大きなイベントである結婚式は、冠婚葬祭でも特にマナーが重要な儀式といえるでしょう。



葬：

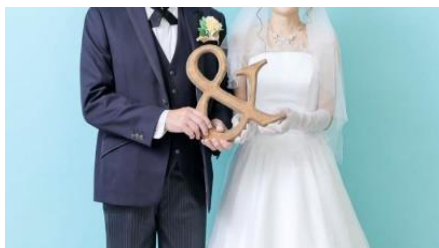
冠婚葬祭の「葬」の字が意味するのは通夜や葬儀、告別式など人が亡くなった時に行われる一連の儀式です。故人が信仰していた宗教や住んでいた地域によって、葬式で行う内容は異なります。冠婚葬祭の中でも「葬」は字からすぐに内容が思い浮かぶ儀式といえるでしょう。「葬」の儀式は、故人との最後のお別れになるため、失礼のないようにしっかりとマナーを守る必要があります。



祭：

冠婚葬祭の「祭」は、季節ごとの年中行事や先祖にまつる儀式を指します。冠婚葬祭の「祭」に含まれるのは、お正月やひな祭りなどのイベントやお盆、法事など幅広い儀式です。実家を離れ遠くに住んでいてもお正月やお盆には帰省し、家族や親戚、親しい人と集まります。

①結婚や就職祝いで贈る品やご祝儀の包み方



結婚のお祝いのマナー

結婚祝いを贈る時期

結婚祝いは、結婚式の2ヶ月前から1週間前までに贈るのが基本です。直接会って渡せない場合は、郵送しても問題ありません。もし、結婚式を挙げない場合は、結婚の報告を受けてから1ヶ月以内に渡すと良いでしょう。昔は、縁起の良い日とされる大安吉日に贈るのが好ましいといわれていました。

品物を渡す場合

結婚祝いで品物を用意する場合、結婚式当日に渡すのは良くありません。結婚式の2ヶ月前から1週間前までに渡せなかった場合は、当日に受付で品物名を記載した「目録」を渡しましょう。

結婚祝いで選ぶと良い品物は、ペアの食器やパジャマといった新生活で使えるものや、質の良いタオルやフラワーギフトなど結婚祝いならではの特別感のあるものです。対して、包丁や割れ物は「縁が切れる」「割れる」という意味を持つので、なるべく避けましょう。また、ハンカチは漢字で「手巾（てぎれ）」と書きます。包丁と同様に縁を切ることを表すため、結婚祝いの贈り物には相応しくありません。

現金を渡す場合

結婚祝いのご祝儀は、結婚式当日に受付で渡します。結婚のお祝い金は、友人や知人であれば30,000円程度、親族であれば30,000～50,000円程度が目安です。兄弟や姉妹の場合は、30,000～100,000円程度でしょう。結婚式に参加できない場合は、10,000円程度のご祝儀や品物を渡します。もし、先に自分が結婚していて相手からご祝儀を受け取っている場合は同じ金額で用意します。

お祝いの言葉

結婚祝いを贈る際にメッセージを添えたり、披露宴でお祝いのスピーチをしたりするときは、忌み言葉を避けなくてはなりません。忌み言葉とは、「切れる」「終わる」「短い」などの別れや不幸を連想させる言葉のことです。忌み言葉のほかにも、再婚を連想させる重ね言葉の使用も避けましょう。重ね言葉には、「繰り返す」「再度」「戻る」などがあります。

披露宴でお祝いのスピーチを行う際は、5～6分程度で話すのがマナーです。事前に原稿を作成し、新郎新婦の人柄にまつわる話や自分との思い出を話しましょう。ゆっくりと気持ちを込めて話すのがコツです。言葉の選び方に注意して、自分なりにお祝いの言葉を伝えましょう。

・ 就職や成人のお祝いで贈り物をするときのマナー



就職のお祝いで贈り物をする際は、就職先が決まってからあまり間を空けずに渡すのがマナーです。遅くとも入社式の1ヶ月前までには贈りましょう。成人のお祝いは、成人式の前日から当日の午前中までに渡すのが基本です。

就職や成人のお祝いの贈り物は、仕事で使えるアイテムを渡すのがおすすめです。たとえば、スーツやネクタイ、バッグなどは新社会人として持っておく必要があります。就職先でも使えるシンプルなデザインのことをプレゼントすると喜ばれるでしょう。

・ ご祝儀袋の種類とお祝いを包む際のマナー



ご祝儀袋の水引の種類

ご祝儀袋の水引には、「結び切り」「あわじ結び」「蝶結び」があります。水引とは、ご祝儀袋にかかっている帯紐のことです。3種類の水引のなかから、お祝いの内容に適したものを選びます。また、水引には色の種類もあります。お祝いごとには紅白や金銀、赤金の組み合わせのもの、お悔みの場面では銀や白黒、青白、黄白の組み合わせのものを使うのがマナーです。

ご祝儀の包み方

ご祝儀を包むときは、お札の顔が袋の表側になるように入れます。結婚祝いのご祝儀袋には、表側に「寿」もしくは「御結婚御祝」「御婚礼御祝」と書きま

しょう。就職祝いの場合は、「祝御就職」「就職御祝」「御就職御祝」などと書きます。お祝いごとに合わせた言葉を書く覚えておきましょう。なお、筆ペンや毛筆を使って書くのがマナーです。ご祝儀袋の水引の下には、自分の名前を書きます。お祝いを贈る相手ではないので注意しましょう。

ご祝儀袋の折り方は、最初に上の折り返しを折って、その上に下の折り返しを被せるのが正解です。下の折り返しに上の折り返しを被せると、お悔みごとの包み方になるので良くありません。ご祝儀を包んだら、ご祝儀袋を袱紗に包みます。袱紗とは、お祝いごとのご祝儀やお悔みの際のご香典を包む布のことです。お祝いごとでは赤やピンク、お悔みごとでは緑や紺を使いましょう。



②お葬式のマナー <https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/9190/>

日本の葬式のマナーとは？焼香のあげ方や香典の包み方



日本の葬式で押さえるべきマナー

喪服や地味な服装を選ぶ

喪服を着用するのがベストですが、用意できなければ地味な色の平服、つまりフォーマルウェアを選ぶのが葬式に参列する際のマナーです。男性の場合は黒のスーツに光沢のない革靴を選びましょう。女性は黒い無地のワンピースに同じ色のストッキングと靴を身に付けます。アクセサリーは結婚指輪以外付けないのがベターです。なお、子どもの場合は学校の制服が正式礼装になります。

故人に焼香をあげる



基本的には左手に数珠を掛けて右手の親指と人差し指、中指で粉末状のお香をつまんで額の高さまであげ、指を下ろして香炉に粉を落とします。宗派の指定する回数を終えたら遺影に向かって手を合わせ、一礼します。焼香する前と終わった後に、それぞれご遺族に一礼するのを忘れないようにしましょう。なお、線香で焼香をあげる際はろうそくで火を灯し、煙が出たら手であおいで消火します。遺族への一礼や遺影に手を合わせるタイミングは基本的な焼香と変わりません。

香典はふくさに包む

香典は、故人を供養するために焚く香の代金としてお金を包んだものです。香典は不祝儀袋（香典袋）に入れたうえでふくさに包みます。一般的に故人が親類なら10,000円、友人や知人、勤め先の同僚・上司なら5,000円が香典の目安です。なお、香典には新札を使わないのがマナーですが、ほかに使えるお札がないときは縦に折り目を付ければ使用できます。受付で香典を渡す際はお悔やみの言葉を述べ、ふくさから取り出した不祝儀袋を手渡ししましょう。

忌み言葉や故人の死に直結する話題は避ける

葬式の間でご遺族やほかの参列者と会話する際、忌み言葉や生死に関する直接的な表現を使うのはマナー違反です。忌み言葉は「たびたび」「つぎつぎ」など、繰り返しや連続性を感じさせる言葉を指します。葬式の間での重ね言葉は縁起が悪く、ほかにも人が亡くなるような連想をさせるため使ってははいけません。また、故人の死因や晩年の様子を根掘り葉掘り聞くのもマナー違反です。

日本の葬式の流れ



葬式の案内状を受け取る

葬式の日程が決まり次第案内状が送られてくるため、すぐに会社に忌引き休暇を申請したり参列に必要な準備を済ませたりしましょう。案内状には通夜や告別式の日時と場所、出席できない場合の弔電や香典の送り先が記載されています。出欠確認も兼ねて返信はがきで案内状が送られてくるため、必要事項を記入して速やかに返信しましょう。なお、出欠席の前にある「御」の字を二重線で消したり、送り主の名前の下にある「行」を「様」に変えたりと返信する際の書き方にもマナーがあります。

通夜に参列する

故人を葬る前に遺族や友人、知人が集まって最後のお別れを済ませるのが通夜です。参列者は焼香をあげ、故人の遺族が用意した通夜振る舞いの料理やお酒をたしなみ、故人との最後の会食を行うのが一般的です。

葬式・告別式で故人に別れを告げる

葬式は葬儀ともいい、遺族や参列者が故人の冥福を祈る儀式です。行われるのは基本的には通夜の翌日、日中に1~3時間程度です。葬式を終えると出棺され火葬が行われます。

火葬した故人を骨壺に納める

火葬は基本的に遺族だけで行われる儀式です。火葬後は「収骨」を行います。収骨は長い箸を使い、二人一組で骨上げをして骨壺に収める儀式です。最初に骨壺に歯を納め、足から順番に頭まで拾い上げたのち、最後に故人と最も親しかった人が喉仏を入れます。遺族や近親者が収骨を行うのが一般的ですが、喪主の許可を得られれば一般の参列者でも骨上げが可能です。

2. ビジネスのマナー

①面接のマナー <https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/2093/>

外国人が日本の面接を受ける際のマナーとは？

- ・リクルートスーツの着用がおすすめ



日本で新卒採用の面接を受ける際は、リクルートスーツの着用がマナーです。リクルートスーツとは、就職活動をする学生用のスーツのことで、ビジネススーツと色味や生地が異なります。リクルートスーツは、黒や紺の無地のものが一般的で、生地はビジネススーツに比べ薄いものが多いです。

なお、中途採用の面接を受ける場合は、リクルートスーツではない無地のスーツや、オフィスカジュアルに当たるシンプルなシャツ、ブラウスなどを着用すると良いでしょう。日本では、中途採用の面接でリクルートスーツを着用すると、面接官に「学生の就職活動」という印象を与えてしまう傾向があります。新卒採用か中途採用かによって、正しい服装を選びましょう。

- ・清潔感のある髪型にする

面接時は、男女ともに清潔感があり表情がはっきりと見える髪型を意識しましょう。男性の場合は、清潔感を出すために髭は剃るべきだとされています。また、長すぎる髪型やセットしていない髪型はだらしのない印象を与えてしまうため、顔周りが見えるすっきりとした髪型が最適です。女性の場合も、前髪が目にかからないようにセットし、髪の毛が長い場合は後ろで結びましょう。

帽子やコートを脱ぐ

面接会場まで帽子やコートを着用して行く場合は、受付をする前に脱ぐのがマナーです。脱いだ帽子やコートは腕に掛けて持ちましょう。面接を受ける側は、帽子やコートを脱ぐタイミングは大した問題ではないと思ってしまいがちです。しかし、応募先の企業や面接官は、入社後に取引先に失礼のないビジネスマナーが身に付いているかどうかを見ている可能性が高いでしょう。そのため、一つひとつの行動も気を抜かず面接に挑む姿勢が大切です。

・日本の面接では外国人も時間厳守がマナー



面接に限らず、時間厳守は日本で仕事をするうえで最低限のマナーです。遅刻にあまり悪いイメージがない国もありますが、日本で面接を受ける外国人は必ず時間を守って行動しましょう。面接時に遅刻をしてしまうと、準備が足りないと考えられたり、社会人の自覚が足りないと判断されたりする可能性があります。

なお、面接会場で受付を済ませる時間の目安は、面接開始の5～10分前です。余裕を持って、面接開始時間の30分前には到着しましょう。もし、やむを得ない事情で遅刻してしまう場合は、早めに連絡を入れる必要があります。遅れて到着した際は、すぐにお詫びを伝えるのが大切です。

・外国人の面接中のマナー



・明るい挨拶をする

面接では、明るい挨拶で良い印象を与えることが大切です。挨拶は、第一印象を決める重要なものなので、笑顔ではきはきと伝えるように心掛けましょう。面接での挨拶の基本的なフレーズは、「△△と申します。本日はよろしく願います。」や「本日はお時間をいただきありがとうございました。失礼いたします。」などです。日本の面接では、内容も大切ですが挨拶やそのほかのビジネスマナーも重視されます。

・正しい姿勢を意識する

外国人が日本の面接を受ける際は、正しい姿勢を意識しましょう。椅子に背もたれがある場合でも、寄りかからず背筋を伸ばします。男性は足をこぶし一つ分くらい開け、女性は膝を付けて脚を揃えるのが良い姿勢です。また、男性も女性も手は膝の上に置きましょう。腕や脚を組んだり背もたれに寄りかかったりすると、態度が悪いと判断されます。

・外国人が聞かれやすい質問への答えを用意

日本で面接を受ける外国人は、面接官の質問に対する答えを事前に準備しておきましょう。外国人は、「日本に来た理由」や「日本の好きなどところと嫌いなどところ」など、日本に関する質問をされやすいです。このような質問に回答する際は、なるべくネガティブな表現は避けましょう。特に、日本の嫌いなどところを答えるときは、嫌いな部分や受け入れられない部分を主張だけするのはNGです。「自分の国と日本では△△の部分異なるため、慣れるまでに時間がかかった」というように、柔らかい表現を心掛けると好印象を与られます。

・面接官への質問も印象を左右する

日本では面接の最後に、「逆質問」といわれる面接官に対する質問を聞かれる場合が多いです。面接官への質問は、自分が疑問に思っていることや気になることを正直に聞いて問題ありません。ただし、雇用条件ばかりを質問すると「雇用条件だけを重視しているのではないか」とマイナスな印象を与えてしまう可能性があります。働くうえで、雇用条件の確認をするのは重要ですが、業務内容や会社の方針などの質問もして、応募先の会社で働きたいというアピールを心掛けましょう。

・外国人が面接で名刺を渡されたときのマナー



面接官に名刺を渡された場合は、「頂戴いたします」と言い両手で受け取るのがマナーです。また、受け取った名刺はすぐにしまわずに机の左側に置きます。このとき、名刺が斜めにならないように真っ直ぐ置きましょう。日本では、名刺が本人の代わりの役割を担うため重要なものとして扱われます。

・外国人が日本の面接で良い印象を残すには



・転職理由は前向きな内容にする

転職の原因が前職への不満や人間関係だとしても、面接では前向きな理由に言い換えましょう。ネガティブな理由を正直に話すと、「採用しても人間関係に問題が生まれるのではないか」「職場に不満を抱えてすぐに退職してしまうだろう」と思われる可能性があります。自己都合で転職する場合は、「より自分の能力を高めたい」「ほかの職種に挑戦してみたい」など、前向きな表現を心掛けましょう。

・応募先の企業についてよく調べる

面接を受ける前に、応募先の企業の理念や方針、事業内容などをよく調べるのが大切です。日本の面接では、志望動機や入社後のキャリアビジョンを聞かれることが多くあります。企業の情報を知らない状態で面接を受けてしまうと、すぐに答えられなかったり内容が薄くなったりしてしまう可能性があるでしょう。会社に対する熱意を面接官にアピールするために、事前に知識を入れて臨みましょう。

・長く働きたいことをアピールする

日本の企業は、以前まで終身雇用の考えが根強かったなごりで、今でも一度採用した人にはなるべく長く働いてもらいたいと考える傾向にあります。特に、正社員として雇用した場合は、定年まで働いてほしいと考える会社が多いようです。そのため、すぐに辞めてしまいそうな人は採用を控える傾向にあります。転職をするのは悪いことではありませんが、面接時に転職を予感させるような発言は控えましょう。日本の企業で働きたい外国人は、長く働いて貢献したい旨を伝えるのが大切です。



まとめ

日本で面接を受ける際は、清潔感や落ち着いた印象を与える髪型や服装を意識する必要があります。また、面接時だけに限らず、日本の企業で働くうえで時間厳守は最低限のマナーです。時間に余裕を持って行動しなくてはなりません。面接中は、明るい挨拶や応募先の企業への熱意をアピールして、面接官に良い印象を残しましょう。

その他、役に立つ面接関連知識：

外国人が就活でよく聞かれる質問と回答例を紹介！面接時のマナーも解説！



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/2150/>

外国人が日本の面接で聞かれる質問とは？採用につながる回答を考えよう！



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/2094/>

外国人留学生が就活の面接で自己紹介を求められたら？例文とポイントを紹介



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/2164/>

外国人留学生が知るべき就職活動の進め方！志望企業に採用されるには



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/2095/>

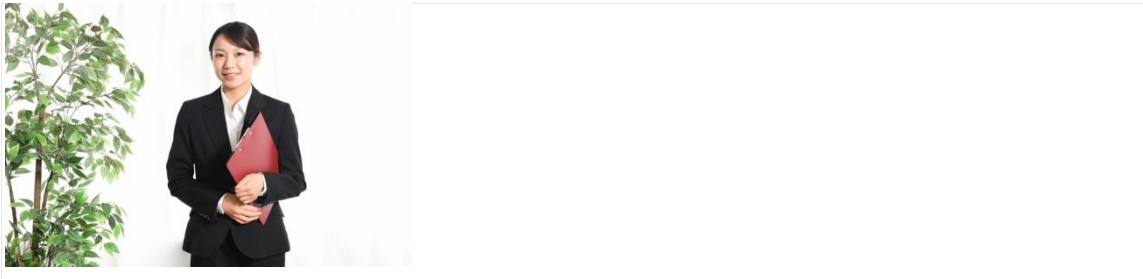
外国人留学生に向けて履歴書の書き方を解説！注意点やマナーを紹介



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/8776/>

②ビジネスのマナー

<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/9699/>



・ **ビジネスマナー**とは、ふるまいや仕事の仕方など、社会人として求められる作法のことです。ビジネスマナーを身につけると、人と信頼関係を築けたり、業務をスムーズに進めたりできます。以下では、ビジネスマナーを身につけるメリットや学び方を紹介しているので、学ぶ際の参考にしてください。

・ **ビジネスマナーが身についていると良い印象を与える**

社会人は異なる立場や年齢の人と一緒に働いたり、社外の人と取引したりします。働くときに普段の服装や言葉遣い、ふるまいのままだと、目上の人や取引先の人に不快感を与えることもあるでしょう。ビジネスマナーを身につけると、失礼のない服装や言葉遣い、ふるまいになるため、相手に良い印象を与えます。

・ **企業のイメージアップになる**

社員がビジネスマナーを身につけていると、企業のイメージアップにつながります。たとえば、社外の人とやり取りをする際にビジネスマナーが身につけていると、相手に好印象を与えられるだけでなく企業としての信頼も得られるでしょう。一方で、ビジネスマナーが身につけていないと、「信頼して良いのか?」「社内教育が行き届いていない」などの不信感を与えてしまう可能性が高いです。ビジネスマナーを身につけた社員が多いと、企業全体のイメージアップにもつながります。

・ビジネスマナーは研修や本から学ぶ

ビジネスマナーは、同じ職場で働く上司や先輩を手本として身につけられます。ほかにも、社内外で行われるビジネスマナー研修で学ぶ方法もあります。研修に出席できない場合や確認したいマナーがある場合は、ビジネスマナーを説明した本を参考にするのも一つの方法です。

・基本的なビジネスマナー



・TPO に合った身だしなみを心掛ける

人の第一印象は身だしなみによって変わります。清潔感のある髪型や服装は、ビジネスシーンで人に良い印象を与えるための重要なマナーといえるでしょう。ビジネスマナーに沿った身だしなみのチェックポイントは以下です。

- ・服やメイクは派手ではないか
- ・服にしわやしみがないか
- ・髪がはねたり伸びたりしていないか
- ・爪は伸びていないか
- ・香水はつけ過ぎていないか

職場によっては制服が決められています。制服の着こなしにルールがある場合は従って、ない場合はビジネスマナーを参考に着用しましょう。

・しっかりと挨拶やおじぎを行う

ビジネスで会う人には、こちらから挨拶やおじぎをするのがマナーです。出社時は「おはようございます」、退勤時は「お先に失礼します」と、来社した人には「お世話になっております」の言葉と共におじぎをします。

・社会人として敬語を使い分ける

敬語には尊敬語・謙譲語・丁寧語があり、ビジネスでは相手によって使い分けます。尊敬語は、上司や先輩、取引先の人など自分より目上の人を敬うときに使う敬語です。謙譲語は、自分を低く表現し相手への敬意を示すときに使います。丁寧語は、相手との立場に関係なく言葉を柔らかくする敬語です。

「言う」は尊敬語で「おっしゃる」、謙譲語で「申し上げる」、丁寧語で「言います」

「見る」は尊敬語で「ご覧になる」、謙譲語で「拝見する」、丁寧語で「見ます」

「聞く」は尊敬語で「お聞きになる」、謙譲語で「伺う」「拝聴する」、丁寧語で「聞きます」

・こまめに「報・連・相」を行う

報連相は「報告・連絡・相談」を略した言葉です。しっかりと行くと、行き違いが少なくなり業務をスムーズに進められます。ポイントは以下です。

報告：業務の状況や結果、ミスなどを結論から伝える

連絡：情報や出来ごとを自分の意見を入れずに知らせる

相談：不安や疑問があれば、早めに相談する

報連相は簡潔・迅速に行うのがマナーです。なお、相談後には結果も伝えるようにしましょう。

・時間を厳守する

出社時間や締め切り、集合時間を守るのは最低限のマナーです。日本ではビジネスマナーとして、決められた時間ちょうどではなく、少し早めの行動が求められます。たとえば、出社は15分ほど、人との約束は5～10分ほど早く着くようにしましょう。初めて行く場所の場合は事前に行き方や交通手段、所要時間を調べておきます。もしも、時間に間に合わないとわかったときは、すぐに相手に連絡し、謝罪と遅れる時間を伝えるのがマナーです。

・有給を取る際や欠勤をする際は連絡をする

有給は、上司や一緒に働いている人に事前に日にちを相談したうえでとります。業務に支障が出ないように引継ぎを行うのがマナーです。また、欠勤は、分かった時点で上司に連絡します。当たり前のことですが、無断欠勤はしないようにしましょう。

・業務におけるビジネスマナー

名刺交換は立って行う



名刺交換は、立って行うのがマナーです。机がある場合は、机の横に移動して相手の正面で行います。名刺は相手を読みやすい向きにしたうえで、名刺入れの上に置いて両手で差し出しましょう。渡す際に社名や部署、氏名を名乗ります。なお、名刺を渡す順番は、訪問した側もしくは立場が下の人からです。

名刺の受け取りは両手で行います。受け渡しを同時に行う場合は、自分の名刺を右手で差し出し、相手の名刺を左手で受け取りましょう。受け取った名刺をすぐにしまうと失礼にあたるので、商談や打ち合わせの間は名刺入れの上に乗せ、机の左側に置きます。

・電話をかけるタイミングや名乗りに留意する

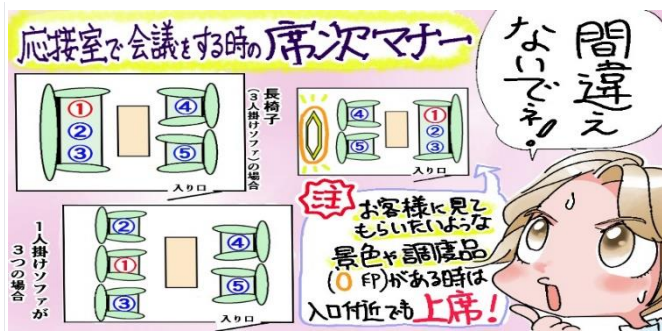
電話をかける際は、業務が忙しいと思われる時間や休憩時間の直前は避けま
す。電話をかけた人から名乗り、簡潔に用件を述べるのがマナーです。電話を
とる際は、呼び出し音3回以内にとるようにしましょう。相手の氏名や用件を
聞き、担当者不在の場合は「折り返しお電話いたしましょうか」と聞きます。
折り返し電話が必要な場合はメモをとり、後ほど担当者に内容を伝えましょ
う。電話は顔が見えないからこそ、明るい声と丁寧な言葉遣いで対応するのが
重要です。

・ビジネスメールは読みやすく簡潔に

ビジネスメールは、簡潔にわかりやすく書くのがポイントです。メールの件名
には、差出人の社名・氏名・簡単な用件を入れましょう。用件がないと、内容
がわからずほかのメールに埋もれる可能性があります。また、本文は、相手の
社名・部署名・敬称をつけた氏名を書いた後に、「お世話になっております」
といった挨拶からはじめるのがマナーです。内容は簡潔にまとめ、最後に自分
の会社名・部署名・氏名・電話番号などを記載します。

・上座・下座を意識する

上座（かみざ）・下座（しもざ）は、会議室や車、エレベーターなどにおける
位置の優劣を示す言葉です。上座は、室内の中でも落ち着ける奥の席や景色が
見える場所などの良い位置を指します。下座は入口に近い位置です。ビジネス
マナーでは、目上の人や取引先の人を上座に案内します。たとえば、会議室で
目上の人や取引先の人を案内する際は、「奥の席へどうぞ」と声をかけ、上座
をすすめてみましょう。



まとめ



日本で社会人として働くうえで、ビジネスマナーは必要な知識といえます。ビジネスマナーを身につけると、相手に良い印象を与え、業務をスムーズに進められるでしょう。ビジネスマナーを身につけるには、一緒に働いている上司や先輩をお手本にしたり、研修や本から学んだりすると良いでしょう。

③敬語のマナー <https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/8822/>

日本語の敬語の種類や使い方

- ・日本語の敬語とはどのようなもの？



日本語の敬語とは、相手に対して尊敬する気持ちを表すための言葉です。

主に目上の人や初対面の人と会話をするときに使います。とくに、ビジネスの場では社会人として敬語で会話をするのがマナーです。ときには、尊敬する気持ちよりも、相手の立場を認めることが求められる場面もあります。相手をどれだけ尊敬しているかではなく、礼儀として敬語で会話をするのが大切です。

日本語の敬語の3つの種類

尊敬語

尊敬語とは、相手に対して敬意を示す敬語です。具体的には、動詞に「れる」「られる」「お～になる」が付くものや、「先生」「～様」など名詞自体が尊敬の意味を持つものを指します。また、形容詞が変化する場合もあり、「お元気」「ご親切」などがその一例です。形容詞に「お」や「ご」が付くことで、相手に対して敬う気持ちを表現できます。

謙譲語

謙譲語とは、相手を立てるためにあえて自分自身の立場を下げる表現方法です。「お持ちする」「ご紹介する」など、動詞が「お～する」「ご～する」に変化するものがあります。また、尊敬語とは反対に、「わたくし」「家内」などの表現で名詞自体を低めることも可能です。

丁寧語

丁寧語とは、丁寧な表現で相手への敬意を表す敬語です。文末に「です」「ます」「ございます」などを付けます。丁寧語のなかには「美化語」と呼ばれるものもあり、「お花」や「ご飯」などがその一例です。名詞に「お」や「ご」を付けて、ものごとに対して上品な表現をします。丁寧語は、相手を選ばずに日常的に使えるのが特徴です。

「尊敬語」「謙讓語」「丁寧語」を使い分ける方法

日本語の敬語の種類を正しく使い分けるには、「誰に」敬意を表すのかを考えることが重要です。動作を行う人に敬意を表す場合は「尊敬語」を使い、動作を受ける人に敬意を表す場合は「謙讓語」を使います。

なお、「丁寧語」は「尊敬語」や「謙讓語」ほどかしこまった敬語ではなく、場面や人を問わずに使える敬語表現です。ビジネスの場で目上の人と会話をするときは、「尊敬語」もしくは「謙讓語」を使いましょう。

・日本人でも間違えやすい敬語

<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/8772/>

了解しました

「了解しました」は「理解した」の丁寧語です。そのため、友人や同僚など同等の立場の人に使うのは問題ありません。しかし、目上の人に使うのは失礼にあたります。理解したと目上の人に伝えたい場合は謙讓語で「承知しました」が正しい表現です。

ご苦労様です

上司や目上の人に「ご苦労様です」と使うのは間違いです。「ご苦労様」は目上の方が目下の人を労う際に使う言葉なので、「お疲れ様です」が正しい敬語です。「ご苦労様」をつい使っている日本人もいるので、つられないように注意しましょう。

すいません

目上の人に謝罪の意味で「すいません」や「すみません」を使うのは誤用です。「ごめんなさい」と同じニュアンスになるので、親しい人以外には使わないようにしましょう。目上の人に謝罪するときは「申し訳ございません」「失礼しました」が正しい表現です。なお、一部の日本人は飲食店で注文をしたり店員を呼び止めたりするときに「すいません」と声を掛けます。この場合のすみませんは「忙しいときに声をかけて申し訳ない」の意味が込められているようです。

～になります

レジで金額を伝えたり、釣り銭を渡したりするときに「～円になります」と言うのは誤りです。「～になる」は物事が変化したときに使用します。たとえば「来年から社会人になります」「〇さんは部長になります」が正しい使い方です。「～円になります」に違和感を覚える日本人は多いため「～円です」「～円でございます」と言いましょう。

～からお預かりします

「～からお預かりします」も「～になります」と同じく、レジで金銭のやり取りをするときに間違いやすい敬語です。「～円をお預かりし、そのなかから～円を頂戴します」が省略され、間違った使い方をされています。「～円をお預かりします」と言いましょう。なお、釣り銭があるときに「～円頂戴します」と言ってはいけません。「頂戴します」は「受け取る」の謙譲語です。そのため、釣り銭のある金銭のやり取りで「頂戴します」と言うと、相手は「お釣りは返されないの？」と不信に思う可能性があります。

～のほう

「～のほう」は二つのものを比較したり、方角を示したりするときに使います。そのため、「書類の方はどうですか?」「お飲み物の方はどうしますか?」などは誤った表現です。つい口にしてしまう日本人もいますが、正しい表現ではないので注意しましょう。

日本語の二重敬語に注意しよう



二重敬語とは、同じ種類の敬語が重なる言葉のことです。たとえば、「お帰りになられます」は「お帰り」と「られる」が尊敬の意味を持つため、二重敬語に該当します。「られる」は受け身や可能、自発に加えて尊敬の意味もあるので、ほかの尊敬語と一緒に使えません。「られる」に加えて、「させていただく」も二重敬語の代表格といえます。「させていただく」は、自分を下げて相手を立てる謙譲語です。そのため、「させていただく」とほかの謙譲語を組み合わせることはできません。

具体的には、「拝見させていただく」や「伺わせていただく」などです。これらは、「拝見」と「伺う」の謙譲語に「させていただく」が付いているので、正しい敬語表現ではありません。二重敬語は丁寧な表現にも思えますが、日本語の文法として誤ったものです。

日本語の敬語の良いところ

敬語は、相手に対して敬意を表すことができる言葉です。正しい敬語を使うことで、相手の立場を理解していることや一般的な常識を持っていることをアピールできます。

また、日本語の敬語は、話しづらい内容を伝えるときにも便利です。たとえば、誘いを断るときや何かを依頼するときでも、丁寧な敬語を使えば相手を不快な気持ちにさせずにすみます。日本語の敬語とは、相手を気遣いながら自分の意見や願望を伝えられる表現方法です。

3. 交通機関のマナー

<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/10014/>

外国人が感じる日本と海外の電車の違いとは？乗車する際のマナーも解説！

・外国人が感じる日本と海外の電車の違い



電車が時刻通りに運行している

日本では電車が時刻通りに運行しています。海外では日常的に電車の遅延が発生したり運行が中止になったりするため、外国人にとっては珍しい光景でしょう。もちろん日本でも事故や天候の悪化などで遅延することはありませんが、日常的な遅延は基本的に発生しません。

電車内で電話をしている人がいない

日本では、電車に乗ったら電話を控えて静かに過ごすのがマナーです。日本の電車内には、通話を控えて携帯電話をマナーモードにするように注意喚起するポスターも貼られています。しかし、電車内での通話が禁止されている国は少数です。海外では、日常的に電車内で電話したり大声で会話したりする国もあります。そのため、初めて日本の電車に乗る外国人は、電車内の静かな雰囲気不思議に思うのでしょうか。

電車に乗る前に整列して待っている

日本人は電車に乗る前に整列し、電車が来たら降りる人を優先して列の順番通りに乗車します。日本以外の国では、「整列乗車」の習慣はほとんどありません。整列乗車を行う国の外国人であっても、日本のように綺麗に整列するのは珍しいと感じるようです。

通勤電車が混んでいる

日本の会社のほとんどが出勤時間を定めており、朝の電車は通勤する人で溢れています。また、急いでいる人が多いため、電車内が混んでいても押し込んで入ってくる人もいるでしょう。海外でも電車が混雑しているときはありますが日本ほどではないため、外国人が日本の満員電車に慣れるには時間が掛かるでしょう。

・日本の電車を利用する外国人が守るべきマナー



ここでは、日本の電車を利用する際のマナーを紹介します。海外にはないマナーもあるので、日本の電車に乗る外国人は電車に乗るときのマナーを事前に確認しましょう。

改札の前で立ち止まらない

電車を利用する際は、改札の前で立ち止まらないようにしましょう。改札の周りには人通りが多いため、待ち合わせや会話は改札から離れた場所で行うのが賢明です。また、ICカードの残高不足で改札を通れなかった場合も、すぐに改札の前から離れましょう。後ろに並んでいる人がいるときは、その人が改札を通れるように道を空けます。

ホームにある階段の進行方向を守る

路線や駅によって異なりますが、ホームにある階段には進行方向がペイントされています。階段を上る人は左側、下る人は右側などと区別されているため、矢印の方向通りに歩きましょう。矢印を確認しないで歩くと、前から来た人と衝突する恐れがあります。事故を防ぐためにも、急いでいるときこそ進行方向を確認するのが重要です。

電車のドア付近で立ち止まらない

乗車したらドア付近で立ち止まらず奥まで進みましょう。後ろに並んでいる人がいる場合、ドア付近で立ち止まってしまうとその人たちが乗車できません。また、次の駅で乗車する人の迷惑にもなります。電車内が混雑していてドア付近に立つしかない場合は、ドアが開いたときに一度降りましょう。ドア付近に立ったまましていると、降りる人がスムーズに下車できません。目的の駅でなくても一度降りて、降りる人が全員いなくなったのを確認してから再度乗車しましょう。

荷物を座席に置かない

電車に乗る際は、荷物を座席に置かないようにしましょう。荷物を置いたせいで、ほかの乗客が座れなくなります。荷物は膝の上や足元に置くのがマナーです。なお、ほかの人の邪魔になりそうな大きな荷物は、座席の上にある棚に乗せましょう。電車内では自身の立ち振る舞いだけでなく、荷物にも気を配るのがベターです。

優先席はなるべく空けておく

優先席は高齢者や妊婦、具合が悪い人が優先的に利用する席なので、できるだけほかの座席に座るようにしましょう。ただし、電車内が混雑しているときは、立っている人のスペースを空けるために優先席に座ったほうが良い場合もあります。周りに優先席を必要としている人がいないかを確認して、座るようにしましょう。なお、優先席を必要とする人が来たら、すぐに席を譲るのがマナーです。

・外国人が快適に日本の電車を利用するには

混んでいる時間帯を避けて乗車する

通勤や通学以外で電車を利用する際は、混んでいる時間帯を避けて乗車するのがおすすめです。通勤・退勤の時間帯は電車内が混雑するため、身動きが取れず乗車しているだけで疲れてしまうでしょう。比較的空いている時間帯を選び、気持ち良く乗車しましょう。

女性は女性専用車両を利用する

日本の電車に慣れていない女性外国人は、女性専用車両を利用すると良いでしょう。女性専用車両はほかの車両よりも人数が少ないため、人混みの多い電車に乗るのが不安な女性外国人におすすめです。また、乗車している人が全員女性だと、気分が悪くなったときに伝えやすいというメリットもあります。ただし、路線によって女性専用車両を利用できる時間帯が異なるため、確認してから乗車しましょう。

乗車前に分からないことがあれば駅員に聞く

日本の電車を利用する際、分からないことがあれば近くにいる駅員に聞きましょう。駅員も外国人観光客から電車に関する内容を聞かれることが多いので、対応に慣れてしています。券売機の操作方法や目的地までの行き方など、一人で悩むよりも駅員に聞いたほうがスムーズに解決できます。

まとめ：日本の電車は時刻通りに運行し、車内の雰囲気は静かです。海外だと国によって、遅延や運行が多かったり車内が賑やかだったりするでしょう。日本の電車に乗る際は、電話や大声での会話を避けるのがマナーです。また、荷物の置き場所にも配慮しましょう。マナーを理解しておくだけでも、快適に電車を利用できます。日本の電車に乗る外国人は、海外との違いや基本的なマナーを確認しておきましょう。



No01駆け込み乗車



No02荷物は前に



No03足を開いて座る人



No04化粧をする人



No05ラブラブ



No06つり革



No07小さくして読もう



No08菓子を食べる子ども



No09整列乗車



No10座席であげれる子ども



No11景色を見る人



No12座席に荷物を置く人

その他、交通機関の利用ガイドとマナー



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/10795/>

新幹線や鉄道の乗り方を外国人に向けて解説！切符の購入や乗り換え方も紹介



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/10714/>

日本の飛行機の乗り方を知りたい！国内線の利用方法を解説



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/10794/>

バスの乗り方が分からない外国人必見！路線バスや高速バスの乗車方法



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/10901/>

日本のタクシーの料金や利用方法、マナーを紹介！



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/11045/>

日本の自転車とサイクリングについて知っておくべきこと



<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/11065/>

日本で自動車に乗るには？必要な免許や交通規則などのお役立ち情報まとめ

4. 外国人向け観光マナー

外国人観光客のマナーどこが悪い？



(1) ゴミのポイ捨て

外国人観光客がゴミを道端にポイ捨てするケースがあり、観光地の景観が損なわれるとして問題視されている例があります。もちろん、これは外国人観光客に限ったことではありませんが、昨今流行りのタピオカの容器を道端に捨てる、トイレの個室にゴミを置き去りにするなどの行為です。

(2) 撮影禁止場所での撮影

観光地で問題視されているのが、撮影禁止場所での撮影です。「禁止」という文字が読めないのか、十分な説明がなされていないのか、重要文化財などの撮影禁止の物にカメラを向けてフラッシュで撮影するなどのマナー違反が目立っています。

(3) 飲食店内に持ち込み・長居

飲食店内への飲食物の持ち込みも外国人観光客のマナー問題です。持ち込みだけでも問題ですが、持ち込んだ挙句お店でオーダーをほとんどせず席に長居をする外国人観光客に迷惑をしている飲食店もあります。

(4) 割り込み行為

列への割り込み行為も問題です。買い物する場合や、アトラクション、乗り物への乗車時には日本では並んで順番を待つのが通常です。ですが、列に気がつ

かないのか、文化の違いなのか、割り込み行為をする外国人は多いもの。イライラすることもしばしばあるでしょう。

(5) 立ち食い

立ち食い行為もよく見かけます。道端でカップラーメンを食べる姿やコンビニ前での立ち食いなどです。また、景勝地での景観を損ねる立ち食いにはイライラする方もいることでしょう。

(6) 予約なしでの行楽

外国人観光客は予約をしたつもりでもきちんと予約ができていないケースも目立ちます。言葉が通じず、「予約していない」とお店側が伝えても構わずに利用する姿には、マナー違反を感じる方も少なくないはず。悪気はないにしてもマナー違反は否めません。

(7) 喫煙場所以外での喫煙

路上喫煙も外国人観光客には多いでしょう。日本人のなかにも路上喫煙者はいませんが、自治体の条例などで罰則が設けられてからは少なくなってきました。喫煙場所以外で平気で喫煙するのはやめてほしいと感じる方も多いでしょう。

(8) 温泉の入り方

文化や価値観の違いなどから、国が変わればマナーも変わってきます。禁止事項については、多言語で説明文を掲示するなど、「マナー違反」を回避するための準備が必要です。ここでは、いくつかの実例を紹介します。

お風呂・温泉のマナー <https://info-graphic.me/travel/1235/>

日本の観光名所として「温泉」が代表的なものの一つにあげられますが、外国人観光客に「温泉のルールとマナー」を守ってもらいたいし、そのためには私達日本人が、外国人観光客の模範となる必要があります。

温泉とは？

温泉法によると、温泉とは「地中から湧出する温水、鉱水及び水蒸気、その他ガス（炭化水素を主成分とする天然ガスを除く）で、温度 25 度以上、または別に定められた 19 種類の物質のうち一つが含まれている物」をいいます。

温泉の歴史

日本は古来より火山活動が活発で、温泉は古くより伝説や神話にも登場しています。最も古い記述は、7 世紀後半より編纂された「古事記」「日本書紀」「万葉集」などに残っています。

温泉効果

温泉には疲労回復や健康を保つなど、さまざまな効果が期待できます。温泉水に含まれるミネラル成分が肌に浸透し、体のいろいろな症状に効果があることが医学的にも証明されています。

正しい温泉の入り方とは？

1. 湯ぶねに入る前には必ず、洗い場にて全身を洗って汚れを落とす
2. 体の末端から頭に向かって「掛け湯」をして、お湯の温度に体を慣らす
3. 湯ぶねには静かに入る。最初はみぞおちまで湯に浸かる「半身浴」を
4. 「全身浴」では体を浮かせたり、手足を動かして血行を促進させる
5. 額が汗ばむ程度で湯船から出る。温浴効果を保つ為、体は洗い流さない

温泉 10 つのマナー

- 温泉が熱くても、勝手に水で薄めてはいけません。
- のぼせ防止で、入浴中は冷たいタオルを頭の上のにせましょう。
- 湯ぶねの中にタオルを入れてはいけません。
- 長い髪は束ねて、湯ぶねの中に落とさないようにしましょう。
- 水着の着用はできません。
- 入浴後は水分と休息をしっかりととりましょう。
- タトゥーが入っている人は、原則入浴できません。
- 湯あがり後は体を拭いてから脱衣所へ。
- 食後すぐや、飲酒後の入浴は避けましょう。
- 湯あたり防止のため、入浴回数は 1 日 3 回に留めましょう。

お風呂の気遣い

BATHING MANNERS

日本澡堂使用礼仪

목욕시 매너를 지켜주세요

刺青・タトゥーが入っている者は入浴できない施設もある

Guests with tattoo are not allowed in some bath houses. (Some strict customs of Japan).

部分浴施不允許纹身入浴 (部分施不允許纹身入浴)

타투(문신)가 있는 분은 들어갈 수 없는 시설도 있습니다. (일본의 오랜 관습)

泳着を着用しての入浴はご断りです

Swimsuit bathing is not allowed.

严禁着泳装入浴

수영복을 입고 입욕하시는 것은 열거히 금지되어 있습니다.

湯おけに入る前に「水け器」で洗い流すの！

Rinse yourself before entering the bathing pools.

入浴前請先在沖湯区洗淨身體

湯おけに入る前に「水け器」で洗い流すの！

湯おけには静かです 静水に入るの！

Be quiet in the bathing pools.

請勿喧嘩，安靜入浴

湯おけには静かです 静水に入るの！

湯を拭いたの毛髪を洗い流す

Wipe yourself off after bathing before entering the dressing room.

出浴後請將身體擦乾再前往更衣室

湯を拭いたの毛髪を洗い流す

お風呂や更衣室で写真を撮ることはできません

Don't take pictures in the bath and dressing room.

禁止在浴池及更衣室攝影攝像

お風呂や更衣室で写真を撮ることはできません

タオルを濡らして入れないの

Don't soak towels in the bathing pools.

請勿將毛巾放入浴池

タオルを濡らして入れないの

長髪の方は必ず髪を束ねて入浴するべし

Long hair must be bound.

入浴前請務必將長髮束起

長髪の方は必ず髪を束ねて入浴するべし

飲食物の持ち込み・飲み物の持ち込みはできません

Don't bring in your food and drink. Don't take equipment out.

禁止攜帶飲食入內，禁止帶進公用用品

飲食物を 가지고 湯おけへ、更衣室へ持ち込まないでください。

入浴後は水分補給を 体水を飲むの！

Be sure to stay hydrated and take water after bathing.

出浴後請及時補充水分稍作休息

入浴後は水分補給を 体水を飲むの！

更衣室や浴室内は携帯電話の使用はできません

Mobile phone use is not permitted in the changing room and bathing areas.

更衣室与浴室内，請勿使用手机，謝謝。

更衣室や浴室内は携帯電話の使用はできません

洗面してはいけない！

Don't wash clothing.

請勿在沖湯處或浴池內洗衣服，謝謝。

洗面してはいけない！

長い髪やタオルは浴槽に入れなくて！

Don't soak long hair, towels and underwear in the bathing pools.

進入浴池內前，請將長髮與毛巾、內衣褲等擦乾再放入浴池內，謝謝。

長い髪やタオルは浴槽に入れなくて！

浴室から出る時は 身体を拭いて

Dry yourself off when you leave bathing areas.

回更衣室前，請擦乾身體，謝謝。

浴室から出る時は 身体を拭いて

シャワーを使う時は 周囲の人に注意して！

Avoid splashing other people while showering.

使用淋浴設施時，請注意您周圍的人，例如：使用噴頭時的射水方向、水量大小等。

シャワーを使う時は 周囲の人に注意して！

大きな声は 周りに迷惑！

Respect others and talk quietly.

在澡堂內，請勿大聲喧嘩，謝謝。

大きな声は 周りに迷惑！

マナーを守ってお風呂に感謝 イイフロでいい気分!!

Onyoku 温浴振興協会

お風呂の気遣い

Bathing manners 日本澡堂使用礼仪

목욕시 매너를 지켜주세요

みんなのお風呂だから気持ちよく利用したい。

お風呂に入る前には必ずかけ湯を使って！

Take a shower before you enter the bath.

請沖湯後，在進浴池內，謝謝。

お風呂に入る前には必ずかけ湯を使って！

洗い場の席取りは厳禁！

Don't leave your washing items at shower area to keep space for you.

沖湯處，請勿幫忙霸占座位。

洗い場の席取りは厳禁！

子供は保護者が注意して！

Children to be supervised at all times.

家長們，在浴場內請善好照看孩子的安全，謝謝。

子供は保護者が注意して！

更衣室・浴室では携帯電話は使用できません！

Mobile phone use is not permitted in the changing room and bathing areas.

更衣室与浴室内，請勿使用手机，謝謝。

更衣室・浴室では携帯電話は使用できません！

洗面してはいけない！

Don't wash clothing.

請勿在沖湯處或浴池內洗衣服，謝謝。

洗面してはいけない！

子供は保護者が注意して！

Children to be supervised at all times.

家長們，在浴場內請善好照看孩子的安全，謝謝。

子供は保護者が注意して！

浴室から出る時は 身体を拭いて

Dry yourself off when you leave bathing areas.

回更衣室前，請擦乾身體，謝謝。

浴室から出る時は 身体を拭いて

シャワーを使う時は 周囲の人に注意して！

Avoid splashing other people while showering.

使用淋浴設施時，請注意您周圍的人，例如：使用噴頭時的射水方向、水量大小等。

シャワーを使う時は 周囲の人に注意して！

大きな声は 周りに迷惑！

Respect others and talk quietly.

在澡堂內，請勿大聲喧嘩，謝謝。

大きな声は 周りに迷惑！

マナーを守ってお風呂に感謝 ♥ イイフロでいい気分!!

Onyoku 温浴振興協会

・外国人観光客のマナーが悪い理由



では、外国人観光客のなかにはどうしてマナー違反をしてしまう方がいるのでしょうか。訪日外国人は、マナーが悪くてもいいと思っているわけではないでしょう。マナー違反の多くの原因は文化の違いや言葉の壁によるものです。

(1) ゴミ箱の設置場所がわからない

外国人観光客によく見られるゴミのポイ捨ては、実はゴミ箱の設置場所がわかっていないだけかもしれません。昨今の日本では景観を重視しているスポットも多くゴミ箱の設置場所がわかりづらいケースもあります。また、テロ対策などで駅にはゴミ箱を設置しないケースもあるでしょう。

そのため、初めてその地を訪れる外国人観光客は、ゴミの捨て場所に困った挙句に、ゴミをポイ捨てにしているケースも少なくはありません。

(2) ゴミを捨ててはいけないことを知らないケースも

そして文化の違いがあるのも事実です。例えば東南アジアの田舎の方ではゴミはポイ捨てが当たり前という地域も存在します。自国の文化や習性が訪日しても抜けきらない観光客がいるのかもしれません。とはいえ日本国内でゴミのポイ捨ては違法になるケースもあり外国人観光客にも日本の文化を理解してもらい、マナー向上に勤めていくべきでしょう。

(3) 撮影禁止場所があることに気がついていない

撮影禁止場所でのカメラの利用は撮影禁止場所だとは気が付いていないからです。撮影禁止の理由は、著作権や肖像権などの権利保護を理由としたものもありますが、日本で特有なのは「他人への迷惑の回避」という理由もあります。写真を撮るには一旦立ち止まらなければなりません。これが他人の観光の妨げになってしまうわけです。「立ち止まり」が「妨げ」に直結するのは、日本の

「狭さ」も関係しているかもしれません。このような事情は、外国からの観光客には気づきにくいことと言えます。

(4) 文化の違い

その他、立ち食いやトイレ・温泉の使い方、割り込み行為、路上喫煙などはほとんど文化の違いです。自国では普通のことを日本でもやっているだけ。本来であれば観光に来る前に観光地のマナーや文化は学ぶべきですが、事前調査なしに訪日することでマナー違反だと感じられてしまうわけです。外国人観光客の意識向上を促し、定着を待つしかありません。

(5) 予約が必要だと気がついていない

予約せずに施設を利用しようとするのは、予約が必要だと気がついていないケースや、予約した場所が間違っているケースなどです。例えば、日本の場合には、川辺でBBQをするにも予約が必要です。しかし、海外の場合には川辺は自由にいつでも利用しても良いことがあり、予約しないといけないことに気がついていません。日本の場合には、予約の仕方も煩雑で外国人の方には難しい可能性もあるでしょう。

(6) 言葉が通じていない

当然ながら言葉が通じていないケースもあります。マナー以前に習慣や風習などを理解しようにも文字が読めない、言葉を聞いても理解できない、などのせいでマナー違反になってしまうのです。日本人が海外に行った場合でもこの手のケースはたくさんあります。

外国人観光客マナー向上に成功した京都府の例



外国人観光客のマナー違反に困っていた京都府では、マナー向上に向けて自治体でさまざまな工夫を施してきました。結果として外国人観光客のマナー向上に成功しています。具体例を見ていきましょう。

(1) マナー向上リーフレットの作成

京都府では、マナー向上リーフレットを2015年に発行しました。旅行情報サイト「トリップアドバイザー」と連携し、訪日観光客だけではなく訪日前からチェックできるように作成しています。訪日する外国人にリーフレットを配布すると共に、京都府の外国人観光客向けのウェブページにも掲載。

「[Kyoto Official Travel Guide](#)」というサイトです。

英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語など13カ国の言語に対応しています。京都府は、観光事業で困っている自治体や観光事業関係者にも利用できるようにデータを公開していますので、利用してみるといいでしょう。リーフレットの主な内容は下記のとおりです。配布場所は空港や観光案内所、宿泊施設などです。

- 路上喫煙
- 無理やり舞妓さんの写真を撮る
- 畳に土足で上がらない
- 並ばない
- 自転車の酒酔い運転
- 線路近くでの写真撮影
- 撮影禁止の社寺での撮影
- ゴミのポイ捨て

(2) トイレ利用に関する啓発ステッカーを作成

トイレ利用に関するステッカーも準備。和式・洋式どちらのタイプのトイレでも正しい使い方ができるようにステッカーを作成し、トイレ内にわかりやすいように設置しています。イラストと文章どちらも利用することで、言葉がわからなくてもイメージで視覚的に理解できるような仕様です。

(3) マナー啓発動画の配信

その動画は <https://www.youtube.com/watch?v=0AYxA260ooE&feature=youtu.be> です。英語の音声と中国語の字幕を採用。

訪日外国人には国民生活センターが頼りになる



外国人観光客のマナー違反にイライラした場合には、まずは勇気を持って注意してみましょう。外国人観光客は実は困っているケースも考えられます。イライラしているだけでは何も変わりません。もしも言葉が通じないようなら、スマホなどで google 翻訳を使ってみると、外国の音声で説明してくれます。

また、外国人観光客が困っている場合には国民生活センターに相談を促してみましょう。

国民生活センターでは「訪日外国人消費者ホットライン」を2018年12月に開設し、外国人観光客のさまざまなトラブルについて相談に乗ってくれています。

言語は英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、日本語の6種類です。国民生活センターの職員が通訳会社と連動して適切に対処してくれます。

相談電話番号：03-5449-0906

相談受付時間：平日10:00-16:00

国民生活センターでは外国人観光客からの相談内容をデータ化し、今後は外国人向けに啓発活動をしていく予定です。

5. 日本料理のマナー

<https://we-xpats.com/ja/guide/as/jp/detail/6508/>

・日本料理、和食とは？



和食の基本は一汁三菜

和食の基本は一汁三菜（いちじゅうさんさい）です。日本では、栄養バランスの良い食事ができるよう、一汁三菜を用意する文化があります。一汁は味噌汁や澄まし汁などの汁物を指し、三菜はおかずのことです。また、魚や肉を使った大きなおかずを「主菜」、おひたしや和え物など小さなおかずは「副菜」といいます。

美味しさの秘密は出汁



和食の美味しさの秘密は出汁（だし）です。出汁とは、和食の味付けのベースとなる汁のことで、海産物やきのこなどを煮出して作ります。出汁によって料理に旨味加わるので、和食ではあまり多くの調味料を使いません。そのため、海外の料理と比べると比較的薄い味付けの料理が多いのも、和食の特徴です。

季節ごとに旬の食材が使われている



季節ごとに旬の食材が使われているのが和食の特徴です。日本には四季があり、春夏秋冬が明確に移り変わります。旬の野菜や魚は味が美味しく栄養も豊富なので、和食では必要不可欠な食材なのです。春はタケノコやキャベツ、夏はキュウリやトマト、秋はサンマや栗、冬は大根やブリなどがあります。

海外の料理を変化させた和食もある



和食には、海外から伝わった料理を日本人の口に合うように変化させた料理もあります。たとえば、カレーライスやコロッケ、スパゲティはもともと日本に存在しない料理でした。和食の定番である「肉じゃが」や「すき焼き」も日本発祥ではなく、海外の料理を変化させた料理といわれています。

このように、料理の種類が広がっているのも、和食の特徴の一つです。

・ 日本料理の配膳マナー



日本料理の配膳マナーとして、お椀やおかずの位置、お皿の扱い方などが重視されます。日本料理の基本といわれる配膳マナーの意味を理解しましょう。

汁椀を右に置きお茶碗を左に置く

日本料理で最も基本といわれる、汁椀とお茶碗の配膳を知っておきましょう。日本では、汁椀を右に置き、お茶碗を左に置くことが定番です。日本は左側に重要なものを配置する「左上位」の伝統があるため、左側に主食のご飯を配置するといわれています。

おかずは奥に置く

おかずはすべて、奥に置きましょう。右奥に主菜、左奥に副菜、中奥に副々菜を並べるのが正しい配膳です。また、お漬物は三菜に含まれないため、ご飯と汁物のあいだに配置しましょう。こうすることで、右手で箸を持つことを前提として考えたとき、右にある汁物にぶつかってこぼす可能性も低くなります。

食後はお椀の蓋を元に戻す

食後はお椀の蓋を開けたままにせず、必ず元に戻しましょう。日本料理には、保温のためや上品に見せるための意味合いとして蓋があるお椀が多く、お茶碗の蓋や汁椀の蓋などがあります。お椀の蓋を戻さずにそのままにしておくと、下品と捉えられてしまう可能性があるため、注意しましょう。

お皿を重ねない

食後にお皿を重ねることも日本の配膳マナーでは違反とされています。一見、食器を重ねるとテーブルの上がまとまり、すっきりすると思われがちです。しかし、お皿を重ねてしまうと食器が傷つく恐れがあるうえ、重ねた食器の外側が更に汚れてしまうかもしれません。お皿は重ねず、配置されていた位置に置くだけでOKです。

・日本料理のマナーで重視される箸の持ち方や使い方



基本的な箸の持ち方

日本に昔からある「箸は三手で持つ」という言葉の通り、箸を持ち上げる際は以下の3つの動作を繋げて行います。左利きの場合は左手で行いましょう。

- ・右手の親指と人差し指で箸の中央をつまむようにして、上から持ち上げる。
- ・左手の手のひらを箸の下に添えて支え、右手を右横の箸の下に移動させる。
- ・箸の右から3分の1あたりを右手の指先で持ったら、左手を外す。

このように、箸を使用する際は親指と人差し指で挟むことがポイントです。間違った箸の持ち方をしてしまうと、食事の席で自分の印象を下げてしまう可能性があるため、注意しましょう。



箸の動かし方

正しい箸の動かし方として、前述の持ち方の通りに箸を持ち、下の箸は動かさず、上の箸だけを動かして食べ物を挟みます。親指で下の箸を抑えながら、人差し指で上の箸をパタパタと動かすのが正しい箸の動かし方です。実際に割り箸などを使い、練習してみましょう。

間違った箸の使い方

合わせ箸…相手の箸と自分の箸で1つの食べ物を掴むこと。1つの食べ物は1人しか掴んではいけない。

寄せ箸…箸で食器を引き寄せること。引き寄せるときは手を使わずにはいけない。

指し箸…箸で食べ物を刺すこと。刺さずに箸で挟まなくてはならない。

なお、箸の好ましくない使い方を「嫌い箸」や「禁じ箸」といいます。箸のマナーは見た目の悪さ、または縁起が悪いなどの理由で古くから日本人に言い伝えられているのです。

割り箸の使い方

割り箸を縦にして左右に割ることや、割り箸の木屑をこすって落としたりする行為はマナー違反とされています。割り箸の向きは横向きにし、上下に割って使用しましょう。また、割るときに大きく音を立てることもNGです。なるべく音を立てずに、静かに割ることを心がけましょう。

・ 日本料理の配膳マナーに基づくデザートの並べ方



日本料理のデザートは、お茶を右、和菓子をお茶の左に置きます。蓋がついている暖かいお茶が出た場合は蓋を開け、湯気の水滴を垂らさないように気を付けながら、湯飲みの横に上向きに置いておきましょう。

・日本の伝統料理の食べ方



お寿司を正しく食べる方法

「寿司」は箸で食べても、素手で食べても良いとされていますが、醤油をつける時は寿司を横にして、ネタにつけて食べましょう。酢飯に醤油がつくと米粒がぼろぼろと落ちやすくなる上、ネタの味が楽しめなくなるからです。また、できるだけ一口で食べるようにします。わさびが苦手な方は、注文時に「わさび抜きで作ってください」と伝えれば問題ありません。



ひつまぶしを美味しく食べる方法

「ひつまぶし」は鰻の蒲焼を細かく刻んで、ご飯の上にのせた愛知県名古屋市の名物料理です。ひつまぶしの食べ方は、まず鰻とご飯だけを食べます。鰻丼のような、甘くて香ばしい味わいです。次に、ワサビやネギなどの薬味を混ぜると爽やかさが加わり、さらにダシ汁を注ぐとさっぱりとした味わいになります。一度に3種類の味を楽しめるのが特徴です。天ぷらを好みに合わせて食べる方法



天ぷらを好みに合わせて食べる方法

「天ぷら」は、ダシやみりん、醤油を混ぜて作った天つゆにつけて食べるのが一般的です。そこにショウガや大根のすりおろしを入れると、油で揚げた天ぷらをさっぱりといただくことができます。ほかにも塩や、抹茶と塩を合わせた抹茶塩をつけて食べるのもおすすめです。

・日本で食事をするときのマナーは？

① 食前と食後にあいさつをする



日本では、食事をする前に「いただきます」、食べ終わったときは「ごちそうさまでした」と言います。これらは、食事を作ってくれた人や農家の人に感謝の気持ちを表す言葉です。また、野菜や肉、魚などの命に対して、感謝の気持ちを伝えるといった意味もあります。海外でも食事の前後にあいさつをする国は数多くありますが、「いただきます」「ごちそうさま」の考え方は日本独自の感性といえるでしょう。

② お皿を手で持つ



日本では白米の入った茶碗や味噌汁が入ったお椀を、箸を持っていないほうの手で持って食べるのがマナーです。また、小さな丼やお重、小鉢、小皿なども片手で持って食べます。海外には、「お皿を手で持って食事をしてはいけない」とする国や地域もあるでしょう。しかし、日本ではテーブルにお茶碗やお皿を置いたまま食べることが、マナーの悪い行為とされているのです。

なお、うどんやラーメンなどが入った大きな丼や大皿などは、重いので無理に持ち上げないようにしましょう。器を持ってないときは、片手を器に添えて食べるのがマナーです。

③ 完食する



外国には、わざと食事を残すことがマナーという国もあります。しかし、日本では、食材や料理を作ってくれた人に感謝の気持ちを表すために、完食するのがマナーです。

もし、食べられない食材やアレルギーがあれば、料理を作ってくれる人に先に伝えておきましょう。その食材を抜いた料理を提供してくれる場合もあります。また、量や好き嫌いの問題で、どうしても完食できなかった場合は、作ってくれた人に謝罪と感謝の気持ちを伝えると良いでしょう。

麺類は音を立ててすすする

日本では、ラーメンやうどん、そばなどの麺類をすすって食べる習慣があります。海外では音を立てて食べるのはマナー違反なため、初めてこの光景を目にした外国人は不快に感じる 경우가多くあるでしょう。音を立てなかったらマナー違反というわけではないので、日本で麺類を食べるときに普段どおり食事をして問題ありません。

まとめ



和食とは、栄養バランスや味、見栄えのすべてに優れた日本の誇る食文化です。日本の食事にはいくつかのマナーがあります。しかし、マナーを覚えきれていなくても、日本食を楽しく味わう気持ちがあれば十分です。気になる食べ物があれば、来日時にぜひ試してみてください。